

令和 元 年寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

記入日を記載

令和 元 年 5 月 1 日 館林市長 殿		整理番号	捺印してください
住所	〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号	フリガナ	タテバヤシ タロウ
		氏名	館林 太郎 印
		個人番号	●●●●●●●●●●●●●●●●
		性別	男
電話番号	0276-72-4111	生年月日	昭和50年1月1日

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

マイナンバーをご記入ください

あなたが支出した地方税法第37条の2（第314条の7）第2項に規定する特例控除対象寄附金（以下「特例控除対象寄附金」という。）について、同法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除に係る申告の特例（以下「申告の特例」という。）を記載してください。

本人確認のため、以下の書類のいずれかのコピーを添付してください。

- ・マイナンバーカード(両面)
- ・マイナンバー通知カード+運転免許証等(顔写真があり、住所・氏名が確認できるもの)
- ・マイナンバー通知カード+健康保険証等+年金手帳等(顔写真がなく、住所・氏名が確認できるもの)

(注1) 上記に記す変更届出書に、申告特例申請事項

(注2) 申告の特例に該当する場合は、同号に額控除の通知税・道府県

(第13項) 各号のいずれに該当する場合にあっては、その場合に寄附金税申告書又は市町村民

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 元 年 5 月 1 日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

確定申告する必要がないこと

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- (1) 特例控除対象寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第120条第1項の規定による申告書を提出する義務がない者又は同法第121条（第1項ただし書を除く。）の規定の適用を受ける者
- (2) 特例控除対象寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の市町村民税・道府県民税について、当該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告書の提出（当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

寄附する自治体が5以下

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------

(注) 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う都道府県の知事又は市町村若しくは特別区の長の数に5以下であると見込まれる者をいいます。

(切り取らないでください。)

令和 元 寄附分

市町村民税
道府県民税

寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住所	群馬県館林市城町1番1号	受付日付印
氏名	館林 太郎 殿	

整理番号

受付団体名	群馬県館林市
-------	--------